

第304回

日文研フォーラム

講師◎マッツカールソン シドニー大学言語文化学部日本学科(オーストラリア) シニア講師/日文研外来研究員
木下恵介映画の見どころ——忘れられた日本のこころ

コメンテーター◎細川 周平 日文研教授

司会◎佐野 真由子 日文研准教授

2016年10月4日(火) 十四時～十六時(開場十三時四〇分)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料

先着二八〇名申込み不要

主催 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

International Research Center for Japanese Studies

The 304th Nichibunken Forum



日文研フォーラム

木下恵介映画の見どころ

—忘れられた日本のこころ

The Viewing Pleasures of Kinoshita Keisuke's Films:
The Forgotten Heart of Japan

日本映画が最盛期を迎えた一九五〇年代、黒澤明にならび、木下恵介の映画は圧倒的な人気を集めていました。たとえば、「二十四の瞳」「喜びも悲しみも幾歳月」などの作品は、その時代を共有した多くの日本人の記憶に残っていることでしょう。しかし、高度成長期の上昇気流に乗って、人々の心が敗戦後の状況から遠ざかっていくにつれ、木下映画は急速に忘れられていきました。

本講演ではこのことを背景に、木下映画の特徴を指摘しながら、映画の可能性とその限界を探ってみたいと思います。木下監督の映画が戦後の一時期、人気を得た理由はどこにあったのか、そして、なぜ木下恵介は「世界の木下」になり得なかったのかを考えます。

講師 マッツ カールソン

シドニー大学言語文化学部日文学科(オーストラリア) シニア講師/
日文研 外来研究員

1991年、ストックホルム大学日本語専攻卒業。1992年-1994年、京都大学にて文部省奨学生としての研究を経て、2001年、ストックホルム大学(日本文学)にて博士号(Ph.D)取得。2004年-2005年、国際日本文化研究センター外国人研究員を経て、現在シドニー大学シニア講師。2016年7月より国際日本文化研究センター外来研究員を併任。専門分野は、日本現代文学、日本映画史。主な著作に、*The Kumano Saga of Nakagami Kenji* (Stockholm: Stockholm University, 2001) などがある。

コメンテーター 細川 周平 日文研 教授



1989年、東京芸術大学大学院にて博士号取得。1996年より東京工業大学社会理工学研究科勤務、2004年より日文研勤務。専門分野は近代日本音楽史、日系ブラジル文化史。主な著作に『サンバの国に演歌は流れる』(中公新書、1995)、『シネマ屋、ブラジルに行く』(新潮選書、1998)、『遠きにありてつくるもの——思い・ことば・芸能』(みすず書房、2008)、『日系ブラジル移民文学1——日本語の長い旅「評論」』(みすず書房、2012)、『日系ブラジル移民文学2——日本語の長い旅「歴史」』(みすず書房、2013)がある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
TEL: 075-335-2078
<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



日文研



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第305回 日文研フォーラム

2016年 11月 15日(火) 14:00~16:00

講師：山崎 佳代子 ベオグラード大学(セルビア) 教授/日文研 外国人研究員

コメンテーター：沼野 充義 東京大学 教授、 細川 周平 日文研 教授